

エルサルバドル政治経済月報 (2023 年 8 月分)

2023 年 9 月
在エルサルバドル大使館

内政

1. 大統領府顧問の逮捕と与党国会議員に対する捜査（主要各紙）

(1) 8 月 9 日、メイソン大統領府国家セキュリティ担当顧問は、機密情報の漏洩やフネス前大統領（任期：2009-2014）が逮捕されないよう逃亡の手助けをした罪等で逮捕された。本件はソーシャルメディア X（旧 Twitter）のブケレ大統領の公式アカウントで発表され、大統領によれば、フネス前大統領の情報提供者であった当国国家諜報組織（OIE）の「ある人物」は、メイソン顧問が 2019 年以降、フネス前大統領、3 人のジャーナリスト、外国政府、外国籍の市民のために、二重スパイとして活動していたと指摘した。

(2) 同日、国会は、検察庁（FGR）からの政権与党の新思想党（NI）ガルシア国会議員に対する、私文書偽造罪に係る捜査依頼を受け、同議員に対する公判前整理手続き（antejuicio）の開始と免責特権（fuero constitucional）の剥奪を承認した。同国会議員に対する私文書偽造罪の疑いは、メイソン大統領府国家セキュリティ担当顧問による告発で明らかになったものであり、同国会議員は、自身の法律顧問であるポルティージョ氏との間で交わされた 90,000 ドルの貸付に係る文書を偽造した疑いがある。

2. ガルシア与党国会議員の逮捕（主要各紙）

8 月 17 日、国家文民警察（PNC）は、ガルシア国会議員を私文書偽造罪で逮捕した。また、PNC は、ガルシア国会議員の逮捕数日前にトゥルシオス同国会議員代理人（suplente）も既に逮捕していた（注：罪状については未公表）旨発表した。

外交

1. ヒル外務大臣の米国訪問（外務省プレスリリース）

(1) ブリンケン国務長官との会談

8 月 7 日、米国ワシントンに訪問中のヒル外務大臣は、ブリンケン国務長官と会談した。ヒル外務大臣は、治安対策の効果、麻薬取引や組織犯罪との闘い、さらに非正規移民数の減少を強調し、「非正規移民数の減少、機会の創出、幅広い社会的な公共投資や『労働移住計画』が功を奏していることは、我々が現在と将来の世代に対して、より良い国を残すために尽力している証である。」と述べた。また、同外務大臣は、米国政府の直近の一時保護移民（TPS）延長の決定に謝意を示すとともに、米国経済の下支えとなっている、何千人ものエルサルバドル人の移民資格を正規化する包括的な解決策を講じるよう求めた。これに対し、ブリンケン国務長官は、二国間の強い友好関係を強調し、「エルサルバドルと米国は、両国の経済と国民で繋がっており、我々は、エルサルバドルの成功に大いなる関心を有している」と述べた。

(2) パワーUSAID 長官との会談

8 月 8 日、ヒル外務大臣はパワーUSAID 長官と会談した。同会談でヒル外務大臣は、ブケレ大統領のイニシアティブであり、USAID の支援の下で実施されている、「労働移住計画」の進捗状況について報告した。ヒル外務大臣は、約 8,000 人のエルサルバドル人が「労働移住計画」を利用し、

様々な米国企業で一時的に労働している旨強調するとともに、同計画が非正規移民の減少と責任感や定住の文化に貢献している旨述べた。同外務大臣は、「労働移住計画」から得られる労働者の収入が、1,050 万ドルに及び、これら収入が住宅、債務の返済、起業や教育のために利用されている旨言及すると同時に、USAID の支援に感謝の意を表した。なお、「労働移住計画」は 2021 年 4 月に署名されたものであり、2026 年 9 月まで継続される予定である。

(3) マヨルカス米国土安全保障省（DHS）長官との会談

ヒル外務大臣はマヨルカス DHS 長官と会談を行い、当国の治安関連分野に関し、犯罪組織及び違法薬物売買に係る取り組みについて述べた。同外務大臣は治安政策に関し、殺人と恐喝件数を減少させている公共政策「犯罪地域コントロール計画」について述べるとともに、麻薬取引の摘発を強化する必要性を強調した。また麻薬組織の活動を縮小させるためにも、監視や捜索に係る技術の向上に取り組む必要がある旨発言した。また、これら取り組みを強化するためにも、当国政府が米国との二国間協力メカニズムを強化すると同時に、新たな協力の可能性を模索する意向であるとした。

2. エクアドルの大統領選挙候補者殺害事案に対する声明の発出（外務省プレスリリース）

8 月 10 日、エルサルバドル外務省は、前日にエクアドルの首都キト市内において、同国の大統領選挙候補者であったフェルナンド・ビジャビセンシオ候補が暗殺された事案に関し、以下のとおり声明を発出した。

(1) エルサルバドル政府は、エクアドルの大統領選挙に立候補したフェルナンド・ビジャビセンシオ候補が暗殺されたことに関し、強い非難と懸念を表明する。

(2) 同様に、エルサルバドルは、我々の兄弟であるエクアドル国民に対して、平和と安全に影響を及ぼす如何なる暴力的行為を断固として拒否することを表明する。

(3) 最後に、ビジャビセンシオ氏の遺族に心からの哀悼の意を表するとともに、被害に遭われた方々への連帯を表明する。

3. 2023 年グアテマラ大統領選挙の決選投票に対する声明の発出（外務省プレスリリース）

8 月 21 日、エルサルバドル外務省は、同 20 日に開催された 2023 年グアテマラ大統領選挙の決選投票に関し、以下のとおり声明を発出した。

エルサルバドル政府は、8 月 20 日に開催された決選投票において、投票した兄弟国のグアテマラ国民に敬意を表するとともに、セサル・ベルナルド・アレバロ・デ・レオン候補が、グアテマラ大統領に選出されたことを祝福する。また、当国政府はグアテマラ新政府と協力しながら、両国民の相互利益となるテーマにおいて、二国間関係を強化する意思があることを表明する。

経済

1. フリーゾーン改正法案の可決（主要各紙）

8 月 15 日、国会は、フリーゾーンの対象となる事業に食品分野（注：一般食品及び家畜飼料、自然食品、準加工食品、並びに加工食品、非アルコール飲料、チューイングガム、食品加工に必要な製品等を含む）を認めるフリーゾーン改正法案を可決した。また従来のフリーゾーン法では、事業を行うのに必要な最低敷地面積は 69,800 平米と規定されていたものの、今回の改正法案の可決により、新たな事業に必要な最低敷地面積が 30,000 平米となる。同改正法案可決に関し、政権与党 NI のソリアノ国会議員は、特に当国のエビ養殖業者が事業拡大に向けて前進できるとし、またレジェス国会議員（国民共和同盟（ARENA））は、当国の経済危機を緩和するための機会となる旨述べた。

2. エルサルバドル・コスタリカ間のフェリー運航開始（主要各紙）

(1) 8 月 10 日、ラ・ウニオン港にて、フェリー「Blue Wave Harmony」（以下、BWH）号の出港式

典が行われ、アンリケル CEPA(港湾空港運営委員会)総裁の他、アエム経済大臣、ロドリゲス公共事業大臣、ミラ外務副大臣、フローレス大統領府補佐官、フォルクス Blue Wave 社 CEO、リマ SIECA(中米経済統合一般条約常設事務局)局長、アホイ駐エルサルバドル・コスタリカ大使らが出席した。ブケレ大統領は自身の SNS アカウント上で、エルサルバドル・コスタリカ間のフェリー事業が開始となり、建設以来 15 年間見捨てられてきたラ・ウニオン港が活動を開始する、とコメントした。

(2)BWH 号は全長 175 メートルで、トレーラーヘッド・運転手込みのトレーラー100 台を収容するキャパシティを有するが、初回の運航で積載されたのはトレーラー20 台程度であったとされ、またコスタリカからエルサルバドルに戻ってきた際にはたったの 2 台であった。なお、本フェリー事業の目的のひとつに両国間の経済関係の深化が挙げられるが、エルサルバドルにとってコスタリカは第 5 位の輸出相手国であり（注：米国、ホンジュラス、グアテマラ、ニカラグアに次ぐ）、2023 年のこれまでの輸出額は 160 百万米ドルとなっている（主な品目は紙（パルプ）、段ボール、プラスチック、燃料、鉱油等）。なお、両国の同期間の貿易総額は 670 百万ドルにのぼり、エルサルバドル側に大きな貿易赤字が生じている。

(3)本フェリー事業は将来的に観光にも利用されることが想定されており、船内には客室や食事スペース、遊戯場ももうけられている。なお、2023 年上半期にエルサルバドルを訪れたコスタリカ人は 5,768 人であり、コスタリカ人旅行者数（511,000）の約 1%にすぎず、同様に、コスタリカを訪れたエルサルバドル人は 13,557 人で、エルサルバドル人旅行者数（1,400,000）の約 0.9%にとどまるなど、現在の二国間の観光は低調なものとなっている。

(4)出航から 16 時間後、360 海里的航海を終え、翌 11 日の午後 6 時頃に BWH 号は無事コスタリカのカルデラ港に到着した。カルデラ港ではトレド駐コスタリカ・エルサルバドル大使、ペラルタ・コスタリカ外務副大臣、リマ SIECA 局長らが BWH 号を出迎えた。しかしながら、潮位の関係からフェリーは到着後すぐにはランプウェイを港に下ろせず、最終的にトレーラーを下ろせたのは午後 10 時過ぎであった。コスタリカ地元紙のレポーターによると、自然条件のほかにカルデラ港に明確なプロトコルが欠如していることから必要以上に時間がかかったとされる。